



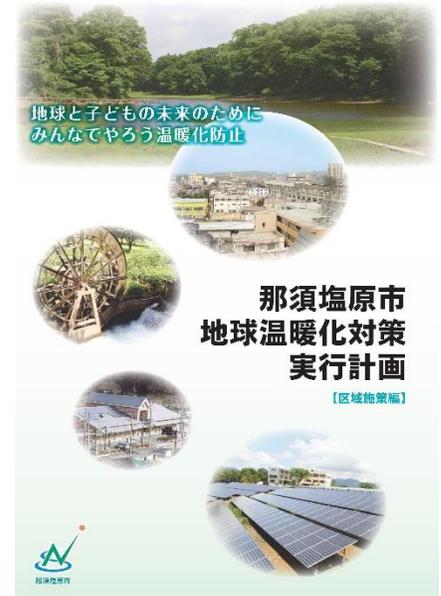
気候変動対策局の取組事項

資料2-1

地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の改訂

改訂時期を迎えている地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の改訂に合わせ、令和2年3月に策定した気候変動適応計画をより具体化し、一本化する。

- ・ 第1回庁内検討会（7月15日）
計画の構成、適応施策及び取組案、緩和施策及び取組案
※幹事課長補佐が委員
- ・ 影響評価調書の作成を関係課に依頼（7月29日）
- ・ 第2回庁内検討会（10月14日）
地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の施策及び取組、
地球温暖化対策実行計画【事務事業編】（素案）
- ・ 庁内各課の緩和及び適応の取組を調査（10月15日）



統合

市民参加による気候変動情報収集・分析業務

＜環境省受託事業（2年目）＞

地域にとって優先的に対応が求められる2課題に関する詳細な情報の収集
気候変動影響の将来予測に向けた計画の作成 など

課題1 気候変動が高原野菜生産（主にホウレンソウ）に及ぼす影響評価と対策の検討

- ・ホウレンソウは、本市の野菜産出額の約20%を占め、国が定める指定産地にもなっている。
- ・1年目事業の調査により、気候変動による影響の顕在化を把握した。

課題2 EbAによる水害対策強化・リスク軽減の検討・評価

- ・防災分野は、市民が最も懸念している課題であり優先度が高い。
- ・人口減少がさらに進むと水害対策用インフラの維持管理について、担い手や費用が不足するおそれがある。

気候変動が高原野菜生産（主にホウレンソウ）に及ぼす影響評価と対策の検討

高原野菜生産（主にホウレンソウ）について、生産現場における気候変動による影響等を詳細に把握する。また、環境調節下で温度による反応を調査し、品質と生育面への影響について将来の予測モデルを構築する。

<実施内容>

- ・ アンケート調査、ヒアリング
気候変動による品質・収量変化、病害虫、雑草、鳥獣被害
- ・ 温度による生育・品質変化の予測モデルの作成
- ・ ハウス資材や代替作物による高温適応策
- ・ 病害虫・雑草の発生と将来のリスク予測
- ・ 鳥獣類の動態予測と適応策

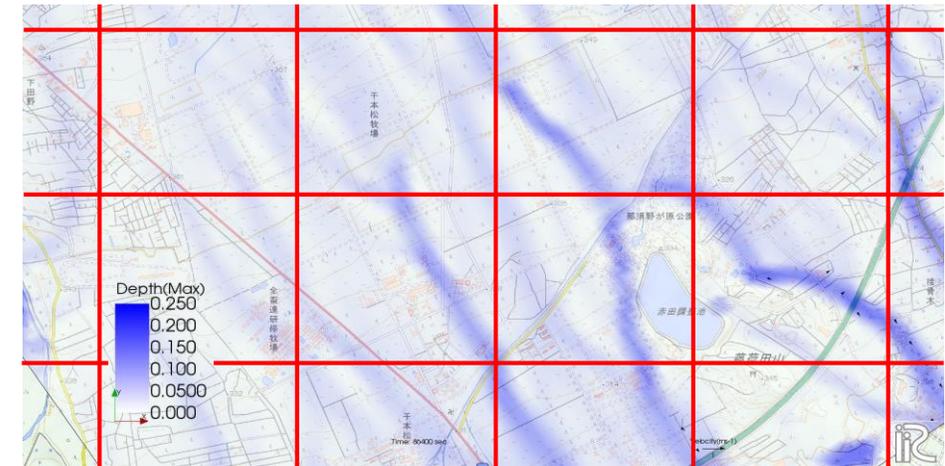


EbAによる水害対策強化・リスク軽減の検討・評価

気候変動による水害等のリスクに対し、本市において有効な対策となり得る生態系を活用した適応策（EbA：Ecosystem-based Adaptation）に関する知見を収集する。過去の水害データ等を用いたコンピュータシミュレーションにより効果を検証する。

<実施内容>

- 水害対策のためのEbAの戦略的導入
災害リスクの評価、EbAポテンシャルの評価、EbA候補地の選定、効果検証
- 斜面崩壊による水害激甚化に対するEbA導入
現地調査、サンプル土採取、地盤特性の把握、代表的断面の設定、地下水位解析・斜面安定解析
- EbA導入の周知と合意形成
関係者ヒアリング、ワークショップ、アンケート



気候変動リスク分析事業

那須塩原市の気候変動適応計画においては、気象庁の予測データをもとに本市及びその周辺における今世紀末の予測結果を採用している。

市民が気候変動の問題を**自分事として**捉え取組を進めていくためには、**より狭い範囲**（本市）、**より近い将来**（20～30年後程度）の気候変動リスクを市民に提示する必要がある。

<実施内容>

- ・本市の身近な将来の気候が、どのように変化するかを分析する気候変動シナリオ分析
- ・自然災害による市民生活や市内産業への影響など、本市における気候変動のリスク評価
- ・本市における気候変動のリスクを市民や関係者に**わかりやすく提示**するためのツール（リーフレットや動画等）の作成

熱中症予防情報の発信（スマートライティング事業との連携）

- **よりきめ細やかな情報発信**を目指し、スマートライティング事業との連携を検討
 - スマートライティング事業（R3環境省補助事業）
 - 市内の既設道路灯をLED化するとともに、通信ネットワーク化することにより、中央管理システムでの一元管理が可能
 - LED化に併せ、道路灯の一部に全天日射計及び環境センサーを取り付け、気象データを取得し、中央管理システムに送信
- ⇒ 環境センサーで取得した気象データをもとにWBGTを推計し、**市内10か所（中学校区）**の熱中症予防情報を配信
(R4実装を目標)

